



愛媛県最初の獣医師

飯尾平太

(今治市国分生まれ)

とんな人?

元治元年、獣医飯尾平七の長男として誕生。

明治18年に獣医師の免許制度が始まり、愛媛県で最初の獣医師となる。今治越智地方だけでなく、広く診療に東奔西走した名医として知られる。

農家に家畜の飼養管理を説いたり、乳牛を入れ病弱者の栄養補給貢献するなど、生涯を牛馬の診療や飼育普及に努めた。

子息秀雄や孫満雄、二郎、弟新太郎、甥豊の何れも獣医師として活躍した。

愛媛にも
獣医学校があった!

明治18年に獣医免許規則が公布(翌19年施行)され、獣医師に免許が必要となる。

愛媛県では、明治20年に文部大臣の認可を得て「愛媛県立獣医学校」を設立。

当時の獣医学専修の学校は東京駒場(東京大学農学部的前身)以外、地方にあるのは唯一愛媛だけであった。

5年で廃校となったが、100名以上の獣医が養成された。

(参考図書)

- 『愛媛篤農伝』(1969年・愛農刊行会) 『国分いまむかし』(1982年・国分読書会)
『愛媛県史 近代上』(1986年・愛媛県) 『今治郷土史 近現代4』(1990年・今治市)
『世界百科事典 13』(2009年・平凡社)